

いちのせき

市議会だより

No.12

平成20年8月1日

発行／岩手県一関市議会 住所／一関市竹山町7番2号 編集／議会報編集特別委員会 電話／0191-21-8604 FAX／0191-26-5556

災害特集号



道の駅・巖美溪で「頑張ろう産直まつり」を開催

お見舞い申し上げます



一関市議会議長

佐々木 時雄

このたびの岩手・宮城内陸地震で、お亡くなりになられました方に、心より御悔みを申し上げますとともに、被災されました皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

6月4日、8時3分、岩手県内陸南部を震源とするマグニチュード7.2の直下型地震が発生し、市内で震度5強を記録いたしました。

議会においては5日に議員全員協議会を開催し、今後の対応について協議しました。また、7日の本会議において災害対策特別委員会を設置し、被害状況確認、国・県への要望活動等に奔走して参りました。

議会として復興に向け取り組む災害対策本部を側面から支援し、一日も早く市民生活が安定することを望むものです。

岩手・宮城内陸地震災害対策特別委員会の設置



ふるさと応援寄附条例

6月定例会は、6月0日開会し、5日間の会期としていたところ、「岩手・宮城内陸地震」により日程を一部変更し開催した。5日(日曜日)には、緊急に議員全員協議会を開催し、7日には「岩手・宮城内陸地震災害対策特別委員会」を設置した。なお災害対策に専念するため、一般質問3日間を取りやめた。

また、岩手県後期高齢者医療広域連合議員の選挙、請願、先決処分、「ふるさと応援寄附条例」等の条例制定、0年度補正予算、財産取得等の審議を行った。国への意見書の提出の審議には、可否同数となり議長裁決で決するなど、多くの時間を費やし、慎重審議となった。

ふるさと応援寄附条例

○目的

ふるさとを愛し、応援しようとする個人または団体から広く寄附金を募り、市のまちづくりに役立てる。

○基金の対象事業

- ①歴史・自然
 - ②産業
 - ③子供・高齢者
 - ④スポーツ・文化
- の事業に活用する。
- 広報
パンフレット、ホームページ、物産展、ふるさと会等にてPRする。

補正予算

(主なものを掲載)

- コミュニティ助成地域行事用備品等導入事業補助金 790万円
- 被災者自立支援特別対策事業費 392万9千円
- 重度障害者が利用するケアホームへ支援
- 病院群輪番制病院運営費補助金 209万6千円
- 大東病院の参加辞退に伴い補助金の増額
- 森林・林業・木材産業づくり交付金事業費 839万9千円
- 東磐井地方森林組合への補助
- 訴訟委託料及び賠償金 587万6千円
- 合併前の川崎村が誤った公租公課証明書及び固定資産価格通知書を発行したことにより生じたとする損害賠償請求事件である。

財産の取得

- 災害対応特殊水槽付ポンプ自動車
- 消防車両の更新として2千リットルの容量の車両1台を取得。

委員の推薦

- 人権擁護委員
- ▽新妻 由利子 氏
 - ▽小山 太郎 氏
 - ▽葛西 功成 氏
- 一関市萩字高梨北方
一関市室根町矢越
- 一関市川崎町門崎

岩手・宮城内陸地震 災害対策特別委員会

6月4日、午前8時³分に発生した岩手・宮城内陸地震は、震度⁵強と極めて激烈な地震であり、市民に大きな被害をもたらした。

その復旧に邁進すべく、議会の対応として6月7日の本会議において議長提案により「岩手・宮城内陸地震災害対策特別委員会」を設置した。

委員長には槻山隆委員、副委員長には佐々木英昭委員を互選した。

7月8日現在、委員会を3回開催し、①被災状況の把握、②激甚災害指定、③今後の対応策、④委員会要望の取りまとめ等について調査を行った。
復旧費用の総額は、8億3700万円⁷で今後臨時議会や補正予算で対応していくことになった。



請願審査

- 1 駅東地区住民の安全な道路の確保について（一関6 東区区长河島一男氏他3名）
- 2 私学教育を充実・発展させるための請願書（私学助成をすすめる岩手の会長新妻二男氏他1名）

- 3 後期高齢者医療制度の廃止を求める請願（全日本年金者組合一関支部支部長塩原良雄氏ほか2名）
- 4 ミニマムアクセス米の輸入を停止し再生産できる米価を求める請願（西磐井農民組合 組合長菅原正直氏）

- 1 2の請願は採択、3は不採択とした。4は産業経済常任委員会で継続審査中である。

意見書提出

- 1 私学助成の充実を求める意見書（発議者 武田ユキ子教育民生常任委員長）
- 2 介護保険制度の改正に関する意見書（発議者 武田ユキ子議員）
- 3 公立小中学校における人学級の拡充を求める意見書（発議者 藤野秋男議員）

- 4 「消えた年金問題」の早期解決と社会保険庁の民営化の見直しを求める意見書（発議者 石山健議員）
- 5 「後期高齢者医療制度」の廃止を求める意見書（発議者 武田ユキ子議員）
- 6 異常ともいえる飼料価格高騰から畜産・酪農経営を守るための国のもう一段の支援策を求める意見書（発議者 菊地善孝議員）
- 7 「平泉の文化遺産」(平泉―浄土思想を基調とする文化的景観)の世界遺産登録を求める意見書（発議者 尾形善美議員）
- 5の採決方法をめぐり一時議会は紛糾したが、無記名投票とし、採決の結果賛否同数となり議長採決により否決とした。

- 他の6件は可決し、内閣総理大臣など関係機関に対し一関市議会名で送付した。

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
8日	7日	6日	8日	7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	0日
議会議報編集特別委員会 議会議報編集特別委員会 治水対策特別委員会 岩手・宮城内陸地震災害 対策特別委員会 議会議報編集特別委員会	議会議報編集特別委員会 議会議報編集特別委員会 治水対策特別委員会 岩手・宮城内陸地震災害 対策特別委員会 議会議報編集特別委員会	議会議報編集特別委員会 議会議報編集特別委員会 治水対策特別委員会 岩手・宮城内陸地震災害 対策特別委員会 議会議報編集特別委員会	議会議報編集特別委員会 議会議報編集特別委員会 治水対策特別委員会 岩手・宮城内陸地震災害 対策特別委員会 議会議報編集特別委員会	議会議報編集特別委員会 議会議報編集特別委員会 治水対策特別委員会 岩手・宮城内陸地震災害 対策特別委員会 議会議報編集特別委員会	議会議報編集特別委員会 議会議報編集特別委員会 治水対策特別委員会 岩手・宮城内陸地震災害 対策特別委員会 議会議報編集特別委員会	議会議報編集特別委員会 議会議報編集特別委員会 治水対策特別委員会 岩手・宮城内陸地震災害 対策特別委員会 議会議報編集特別委員会	議会議報編集特別委員会 議会議報編集特別委員会 治水対策特別委員会 岩手・宮城内陸地震災害 対策特別委員会 議会議報編集特別委員会	議会議報編集特別委員会 議会議報編集特別委員会 治水対策特別委員会 岩手・宮城内陸地震災害 対策特別委員会 議会議報編集特別委員会	議会議報編集特別委員会 議会議報編集特別委員会 治水対策特別委員会 岩手・宮城内陸地震災害 対策特別委員会 議会議報編集特別委員会	議会議報編集特別委員会 議会議報編集特別委員会 治水対策特別委員会 岩手・宮城内陸地震災害 対策特別委員会 議会議報編集特別委員会	議会議報編集特別委員会 議会議報編集特別委員会 治水対策特別委員会 岩手・宮城内陸地震災害 対策特別委員会 議会議報編集特別委員会

岩手・宮城内陸地震災害対策特別委員会報告

特別委員会を設置

6月4日、午前8時3分に発生した岩手・宮城内陸地震はM7・2で当市は震度5強を記録しました。この地震により死者1名、負傷者2名の人的被害があったほか、大規模な土砂崩れや道路の寸断、落橋など甚大な被害をもたらしました。

議会としては早速5日に議員全員協議会を開催し被害状況の把握につとめたほか、今後の対応策について協議しました。

7日には本会議を開催し議長提案により「岩手・宮城内陸地震災害対策特別委員会」（委員長槻山隆、副委員長佐々木英昭）を設置し、①被災状況の把握、②対応状況と課題、③国への要望等について取り組む



- ㊤ 正副議長とともに市担当職員から説明を受ける（17日本寺小学校避難所）
- ㊦ 避難者に対して最大限の努力することを伝える正副議長と正副委員長（17日避難所）
- ㊧ 6月18日には福田総理大臣が訪れ、子どもたちをも激励した（18日避難所）

ことにしました。

また7日には、正副委員長が、避難所となっている市立本寺小学校体育館を正副議長とともに訪れ、避難している方々にお見舞いを申し上げました。そして、一日も早く平常な生活に戻るよう最大限の努力をすることを伝えました。

8日に、福田総理大臣が

避難所を訪れた際には特別委員長から早期復旧を要望しました。

被害状況の調査

被害の状況については、6月3日現在、住家等被害117棟9500万円ほか土木施設、農地農業施設な

ど総被害額7億2687万円ほどだったものが、調査が進むにつれ拡大し、7月6日現在、被害総額2億7419万円となっております。

最も大きいのが土木施設被害で5億2611万円、ついで農地農業施設被害4億6803万円などとなっております。

一日も早い復興を

当特別委員会は現地調査を行うとともに市当局と連携を密にし、県・国の最大限の支援を要望して参ります。さらに一日も早い市民生活の安定のため努力してまいります。

一関市議会と岩手・宮城内陸地震災害対策特別委員会は連名により、6月7日緊急要望を行いました。

この要望は震度5強と極めて激しい地震で死者1名、負傷者2名の人的被害のほか、道路の寸断、橋りょうの落下や農林業施設、民間住宅などに甚大な被害をもたらしたこと、避難所生活を余儀なくされ市民生活に大きな動揺を与えていること、二次災害発生が憂慮されることから特別な財政援助を求めたものです。

佐々木議長と槻山委員長が県選出国会議員及び関係省庁を訪れ、内閣総理大臣をはじめ各関係大臣に要望書を提出しました。

政府は7月4日の閣議で、岩手・宮城内陸地震で被害が大きかった一関市を「局地激甚災害」に指定することを正式に決めました。

平成20年岩手・宮城内陸地震に関する 緊急要望書

6月14日、午前8時43分に発生した平成20年岩手・宮城内陸地震は、震度5強と極めて激しい地震であり、当市においても、死者1名、負傷者2名の人的被害のほか、市西部の中山間地を中心に、道路の寸断、橋りょうの落下を初めとする公共土木施設、農林業施設、民間住宅や公共施設、観光施設などに甚大な被害をもたらしました。

今回の地震の震源地に隣接する祭時、槻木平、市野々原地区においては、道路網が寸断され避難所生活を余儀なくされるなど、市民生活に大きな精神的動揺を与えております。

また、土砂崩落によるダムの出現など二次災害の発生も憂慮されております。

このような状況の中、緊急かつ大規模な対策につきましては国直轄で実施していただき、御礼申し上げます。

市当局においては、国・県と一丸となり応急対策と復旧対策に全力を挙げて取り組み始めたところではありますが、復旧まで相当な期間がかかることが予想されます。

つきましては、激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律に基づく早期指定とともに復旧対策等につきまして、特段のご理解とご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月27日

一関市議会議員 佐々木 時 雄

岩手・宮城内陸地震災害対策特別委員会
委員長 槻 山 隆

一般質問一覧

第16回定例会の一般質問は、今回の岩手・宮城内陸地震により中止といたしました。

事前に通告されていた件名についてお知らせいたします。

伊東 秀藏 議員

1. 「平泉―浄土思想を基調とする文化的景観」のイコモスからの登録延期勧告とその対応について
2. J Aいわい東及びJ Aいわて南の合併と農業振興について
3. 東磐井地方森林組合と一関地方森林組合との合併と林業振興について
4. 東磐井5土地改良区の合併と藤沢地区、一関地域の合併の見通しは

尾形 善美 議員

1. 両磐は一つとの合併推進について
2. 一関市中心市街地のトータル的なまちづくりについて
3. 磐井川堤防改修について
4. 協働のまちづくりについて
5. 市職員の身分・待遇について

阿部 孝志 議員

1. 農業体験修学旅行の受け入れについて
2. 市在住外国人との交流状況について

鈴木 英一 議員

1. 後期高齢者医療制度について
2. 一関市職員の削減の現状と今後の考え方について

藤野 壽男 議員

1. 一関市における国際交流に対する方策について
2. 地域イントラネット事業と住基ネットワークについて

小野寺維久郎 議員

1. 市民と行政の協働のまちづくりについて
2. 指定管理者制度について
3. 消防行政について
4. 郷土の歴史、文化的資料等の保存と活用について

槻山 隆 議員

1. 協働推進課設置のねらいは
2. 公共交通の見直しについて

木村 實 議員

1. 中里中学校校舎改築の考えは
2. 学校給食の取り組みの課題

大野 恒 議員

1. 臨時職員の問題
2. 教育行政について

小山 謂三 議員

1. 市内河川の環境対策について
2. 一関東消防署の改築について
3. 住民自治意識の高揚について

千葉 満 議員

1. 環境教育の現状と課題
2. 少子化対策としての子育て支援策
3. 市民参加型市場公募債の考え方について

大森 忠雄 議員

1. 市庁舎の利活用について
2. 一関市総合保養センターの運営状況について

那須茂一郎 議員

1. 農地、水、環境保全の制度を活用推進する考えはないか
2. 介護保険の要介護者で、障害者控除対象者認定書を受けられる方がいる世帯で、保育料の軽減を受けられないか
3. 給食センターで使用されている、IH器具は電磁波の健康被害は危惧されないか
4. 凝集固化剤の検証をする考えはないか

菊地 善孝 議員

1. (仮称)地域経済振興条例を設定すべきではないか
2. 障害者雇用率改善の取り組みの現状と通所型授産施設への助成の現状について

武田ユキ子 議員

1. 旧町村役場の現状と空きスペースの活用策について
2. 一関市放課後子どもプランについて

佐藤 雅子 議員

1. 学校図書の現状と課題
2. 特別支援教育の現状と課題
3. 学校給食について
4. 小中学生の携帯電話に対する課題

菅原 巧 議員

1. 少子対策と各種健診等について
2. 一関市における京都議定書に向けた取り組み状況

藤野 秋男 議員

1. 国民健康保険制度の充実
2. 旧千厩高校の跡地利用について

佐々木賢治 議員

1. 工業振興について(企業誘致)
2. 自治区満了後の自治体・地域経営について
3. 学校耐震化事業について

小山 雄幸 議員

1. 道路行政について
2. 環境行政について

齋藤 正則 議員

1. 県立一関第一高等学校付属中学校設置について
2. 後期高齢者医療制度について

石山 健 議員

1. 農業の再生及び農家に対する緊急支援について
2. 管内の県立病院診療センターの医師確保と地域医療の充実について

神崎 浩之 議員

1. 入札における市の対応は適正に行われているか
2. 現在の夜間当番医制から「市営の夜間・休日診療所」を設置すべきと思うがいかがか

政務調査費 収支報告

政務調査費は、地方自治法の規定により議員の調査研究に資するための経費の一部として交付されるものです。当市においては議員1人当たり月額15、000円が支給されます。

一 関市議会では、収支報告書を提出する際に領収書の添付が規則で定められております。

また議会として、使途基準に基づいた運用基準等を定め適正な執行に努めております。

閲覧期間が変わりました

一 関市議会では、情報公開条例に基づき閲覧とは別に、開かれた議会を指し、市民の皆さんが政務調査費の収支状況報告書等を閲覧できるようにいたしました。

なお閲覧期間が翌年3月1日までに変更になりました。

○請求窓口

一 関市議会事務局

○閲覧期間及び閲覧時間

平成0年7月1日から翌年3月1日までの8カ月間で、土日を除く午前9時から午後5時まで

会派名	人数	収入額計 (交付額)	支出項目					支出額計	返還額
			研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費		
一新会	8人	1,440,000		1,137,296	6,750			1,144,046	295,954
市民クラブ	8人	1,440,000	5,300	1,159,480	34,390	50,165	159,086	1,408,421	31,579
新生会	6人	1,140,000		989,920	240			990,160	149,840
公和会	8人	1,440,000		743,316	23,969	35,710		802,995	637,005
日本共産党一関市議団	5人	900,000	187,750		9,970	75,029	638,397	911,146	0
佐々木時雄	1人	180,000						0	180,000
千葉光雄	1人	180,000		92,270	990	46,254	58,725	198,239	0
尾形善美	1人	180,000	52,765			64,460		117,225	62,775
合計		6,900,000	245,815	4,122,282	76,309	271,618	856,208	5,572,232	1,357,153

項目	細目	支出内容
1. 研究研修費	会場費	会場設営・撤去、生け花などの装飾、会場清掃
	講師謝礼	講師謝礼金、講師の昼食・夕食代
	出席者負担金及び会費	主催者等に納入する負担金、会費、参加費、受講料等
	交通費	一関市旅費支給に関する条例の交通費に準ずる
	旅費	講師等の旅費
2. 調査旅費	宿泊費	一関市旅費支給に関する条例の宿泊費に準ずる
	交通費	一関市旅費支給に関する条例の交通費に準ずる
3. 資料作成費	旅費	講師等の旅費
	印刷製本代	印刷製本、コピー代等の費用
	翻訳料	翻訳するための費用
	事務機器購入費	事務消耗品等の購入費用
4. 資料購入費	リース代	リース期間は、議員の在任期間とする。
	資料	図書、新聞等の購入費用
5. 広報費	印刷費	広報費、報告書等の印刷費用
	送料	広報費、報告書等の送付費用
6. 広聴費	会場費	会場設営・撤去、生け花などの装飾、会場清掃
	会場費	会場設営・撤去、生け花などの装飾、会場清掃
	送料	アンケート用紙等の送付費用
7. 人件費	印刷費	アンケート用紙等の印刷費用
	人件費	雇用者は、会派所属議員の3親等以内の者を除く
8. 事務所費	賃借料	事務所の賃借する費用
	維持管理費	事務所の管理する費用
	備品購入費	備品(1万円を超える物品を購入する費用)
	事務機器購入費	事務用消耗品等の購入費用
9. その他の経費	リース代	リース期間は、議員の在任期間とする
		1～8項まで掲げるもののほか、調査研究活動に必要な経費

岩手・宮城内陸地震

一関市 巖美町

佐々木エキ子

広報に思う

一関市花泉町油島

武田 圭瑞

被災者の支援を

一関市千厩町奥玉

穴戸 正



合併以来
住民へのサ
ービスを低

下しない為色々手段を尽くしているがその一つ広報について感じる事を述べて見る。「広報いちのせき」「いちのせき市議会だより」を始め各部署から色々な広報集等に申す考えはない。言いたいのは折角手間暇かけて作りあげ市民に読んで理解して頂くことと各戸に配布されながらどれだけ読まれているか。



6月4日
に発生した
岩手・宮城

内陸地震で、被害に遭われた方々に心からのお見舞いを申し上げます。災害に対しては、市は速やかに対策本部を設置、議会も特別委員会を設置して対応に当たっててくれました。しかし、災害の状況と対応について知ることができたのはマスコミの情報でした。

平成0年6月4日に発生した「岩手・宮城内陸地震」に、この平穏で小さな山村が襲われました。しかし、築何十年、何百年もの家が多いにもかかわらずあの揺れでの倒壊が軒もなかつたのはなによりでした。木材を豊富に使った事や、当時の職人技の素晴らしさが証明されたのではないのでしょうか。

編後

今回の地震に対し、国・県・市当局の迅速な対応により、防災ヘリや援助隊の派遣が早く、情報収集や住民の避難搬送が比較的にスムーズに行われました。全国各地から支援活動や

企業の援助など心温まる支援と今なお市当局をはじめ市職員、建設関係者による昼夜に及ぶ監視・災害復旧活動が続けられています。

今回の地震は国も想定しなかつた所で発生しており、大きな地震は全国各地でも起こり得ることではないでしょうか。地震の不意打ちに備えて、建物の耐震化など災害対策の再点検が急がれます。

被害を受けられた皆様へ心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈りいたします。

編集委員 小山雄幸

定例会の傍聴者数 5人

【表紙解説】

7月3日、道の駅・巖美溪で「地域に元気を取り戻そう」と産直まつりが開催されました。開いたのは農事組合法人「美の郷」の人たちです。組合員の8割近い人たちが被災しました。客足も大きく減少しています。

しかし、今度の取り組みを「希望の足がかりにした」と代表の阿部四郎さんは話しています。

訂正とお詫び

第1号の市政調査会活動報告中、講演者名「北川正泰教授」ではなく「北川正恭教授」でした。お詫びして訂正させていただきます。

議会報編集委員

- | | |
|------|---------|
| 委員長 | 千 葉 光 雄 |
| 副委員長 | 武 田 ユキ子 |
| 委員 | 佐々木 賢 治 |
| 委員 | 藤 野 秋 男 |
| 委員 | 神 崎 浩 之 |
| 委員 | 千 葉 満 |
| 委員 | 小 山 幸 |
| 委員 | 那 須 雄 一 |
| 委員 | 菅 原 茂 郎 |
| 委員 | 佐々木 英 昭 |

ホームページから会議録が検索できるようになりました
インターネット中継をしています



再生紙を使用しています